

一般質問

■和倉温泉スポーツ施設の復旧と未来



佐藤 喜典 議員
(市民クラブ)



国際競技対応の可能性と復興シンボルとしての役割を問う！

質

和倉温泉創造的復興プランでは、屋内スポーツ拠点を整備することにより、和倉グラウンドやテニス場周辺を本市の代表的なスポーツ拠点と位置づけている。現在、サッカー・テニスコートの復旧は道半ばと聞いているが、国際競技が可能な施設として整備する考えがあるか伺う。

また、関係人口や交流人口の拡大には、合宿誘致だけでなく国際大会の開催も必要と考える。さらに、和倉温泉の復興を象徴する施設として整備する考えがあるか改めて伺う。

答

和倉のテニスコートは、国際大会開催に必要な規格を満たしており、既に国際大会が開催されている。サッカー場については、国際サッカー連盟が定めるスタジアム規定や各大会によって要件が非常に厳格に定められており、多額の整備費用が必要となるため、現時点では困難と考えている。まずは早期に施設を改修し、七尾市が再び合宿の聖地となるよう誘致活動を含めしっかりと取り組んでいきたい。

当然、和倉温泉の復旧においては、多くの方に来ていただくために様々なソフト面・ハード面について、創造的復興プランの中で検討しているところである。関係者と様々な提案を検討し、再開に向けてしっかりと取り組んでいきたい。

一般質問

■被災者救済のための制度検証について



西川 英伸 議員
(市民クラブ)



震災の教訓を活かした行政対応のあり方を問う！

質

今回の震災を教訓として罹災判定調査のどのような点を検証・改善していくか見解を伺う。

また、新築・改修に関しての支援、準半壊以下の支援に関して、市独自に設定した支援要件のハードルが高く、使いづらいとの声がある中で、どのように市民に説明しているのか伺う。

答

被害認定調査は、税務課のみで対応したため業務が集中し、証明書発行に最大で約3か月を要した事例があった。そのため、今後は他課との連携による業務分担など、体制の見直しが必要であると考えている。

さらに、罹災判定は内閣府の基準に基づくため、民間保険などの判定基準と必ずしも合致するものではないという点を事前に丁寧に説明し、理解を得ることが重要であると考える。加えて、認定調査に係る研修を実施する中で、職員のスキル向上を図るとともに、調査が可能な人員の増加にも取り組んでいかなければならないと考えている。

再建・復旧支援事業の制度設計については、既存の生活再建支援金、住宅応急修理制度の支援額を超える部分を補うものである。制度内容の相談・申請は、パトリア4階の総合支援窓口やコールセンターなどで対応を行っており、広報やホームページなどを通じて周知している。今後も市民からの問い合わせに対して、理解が得られるよう、丁寧な説明を継続していく。